

あいちの教育に関するアクションプランⅡ

〈個別施策の実施状況〉

重点目標 1 幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図ります。

(1)道徳性・社会性の向上			
■ 命を大切にす教育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「命を大切にできる子どもを育む道徳教育」の推進	120	「命を大切にできる子どもを育む道徳教育の在り方」をテーマとした、推進校への研究委託	推進校数：小1校(1校) 中1校(1校)
あいっこイキイキ子育て支援地域交流会の開催	1,740	家庭や地域の教育力の向上を図るための子育て支援を考える地域交流会の開催	開催地：6地区(7地区) [北名古屋市、あま市、知多市、みよし市、田原市、豊根村] 参加者数：2,542人(2,622人)
■ 社会全体のモラルの向上			
地域協働生徒指導推進事業	855	学校を核として、地域や家庭と連携した生徒の健全育成を図る取組の実施	生徒指導推進地域： 12地域(12地域)
「あいちの教育」シンボルマーク・標語の募集・活用	—	社会全体で子どもたちを大きく育てていく機運を醸成するための「あいちの教育」をイメージしたシンボルマーク・標語の活用	電柱広告へのシンボルマーク及びいじめ・児童虐待防止の標語の掲載に関する協定の締結
関係機関と連携した教育キャンペーンの実施	850	幅広い県民の参加により道徳性・社会性の向上を図るための関係機関と連携した教育キャンペーンの実施	重点テーマ：家庭・地域・学校の連携で「いじめ・暴力」から子どもを守ろう 〈キックオフイベント〉 開催日：平成25年9月10日(火) 開催地：名古屋市[金山総合駅] 〈市町村・学校キャンペーン〉 時 期：平成25年9月～12月 実施箇所数：66か所
育19キャンペーンと連動した「モラル・マナー」の啓発	—	「子育て応援の日(はぐみんデー)」にちなんだ街頭啓発活動(育19キャンペーン)に合わせた「モラル・マナー」の啓発の実施	子育て応援の日：毎月19日 開催地：名古屋市[金山駅周辺] 開催日：平成25年11月19日(火)

※主な実績欄の()内の数値は前年度実績である。

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
青少年育成県民運動の展開	994	市町村、学校関係者、PTA、警察、青少年団体等と連携した各種青少年育成県民運動の実施 ①子ども・若者育成支援県民運動、②「家庭の日」県民運動、③青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動	①強調月間:11月 ②強調月間:2月 ③強調期間:夏期[7・8月]及び冬期[12月10日～1月10日]
「少年の主張」の開催	511	中学生の社会性と自主性の育成と青少年の健全育成に対する理解を深めるための「少年の主張」愛知県大会の開催	開催日:平成25年8月23日(金) 開催地:名古屋市[中区役所ホール] 応募者数:54,937人(53,914人) 視聴者数:503人(428人)
■ 道徳教育の充実			
心の教育推進活動	—	県内全小・中学校(名古屋市除く)での家庭や地域と連携した児童生徒の心を育む体験活動の実施	強調月間:5月、11月 取組例:奉仕活動、福祉実践、自然とのふれあい 等 ※各学校の取組を道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」に掲載
道徳教育総合推進事業	6,549	道徳教育の充実・振興を図るための道徳教育推進会議の開催と推進校への研究委託	〈道徳教育推進会議〉 テーマ:思いやりの心を育む道徳教育の在り方 会議開催:年2回(2回) 推進校:小2校(2校)中2校(2校) 〈道徳教材の活用研究〉 実践校:小8校(0)、中8校(0)
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」の運用	180	道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するためのWebサイトの運営	モラルBOXアクセス件数: 294,143件(228,042件)[累計] 806件(625件)[1日平均]
■ 集団活動や交流活動の推進			
絆を育む学校づくり推進事業	1,755	地域の異世代の人たちとの交流による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	実践指定校:幼2園(2園)、小6校(6校)、中4校(4校) 実践例:地域での老人会との交流、祭りへの参加、福祉施設訪問、美化活動 等

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
県立学校アク ティブチャレ ンジ事業	4,028	県立学校全体の活性化を目指した、各学校の意欲的な教育活動を支援	魅力ある授業づくり部門： 高5校(5校) スポーツ・文化芸術部門： 高6校(6校) 地域貢献部門：高5校(5校) 特2校(2校)
防災キャンプ の実施	2,100	青少年の防災教育及び地域の絆づくり等を推進するために、体験型の防災プログラムを実践する防災キャンプの実施	実施市町村：2市町[大治町、田原市](3市) 参加者数：505人(803人)[2市町合計] 内 容：学校や社会教育施設等を避難所とした生活体験 等 事例発表会参加者数：66人(92人)
青年指導者の 養成（愛知県 青年講座の開 催）	239	青少年教育活動の指導者の企画力、運営力、指導力を養成するための講座の開催	受講生：20人(21人)、 うち修了生18人(20人) 日 数：5日(5日)
社会教育施設 の運営	207,811	青少年を始めとする県民の宿泊研修や野外活動の利用に供するための青年の家、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家の管理運営委託 〔主な実績欄の凡例〕 A:延べ宿泊利用者数 B:研修室等利用件数	〈青年の家〉 A:23,730人(21,216人) B:3,432件(3,394件) 〈美浜少年自然の家〉 A:48,882人(47,320人) B:2,967件(2,671件) 〈旭高原少年自然の家〉 A:52,640人(54,049人) B:2,105件(2,122件)
■ 情報モラルの向上			
インターネット 利用安全・ 安心講座の開 催	—	青少年が安心してインターネットを利用できる環境を整備するための講座の開催	開催数：61講座(39講座) 〔内訳〕 小30、中13、高10、一般8 受講者数：12,354人(8,037人)
青少年育成県 民運動と連動 した「情報モ ラルの向上」 の啓発	613	青少年育成県民運動の場でのインターネット利用に関する講演会の開催	開催日：平成25年7月22日(月) 内容：子どもをケータイ・ネットのトラブルから守る～スマートフォンの問題点～

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラルに関する情報の発信	—	情報モラル教育も含めた道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するためのWebサイトの運営	情報モラル教育実践掲載:333件
安心ネットインストラクターの養成	273	「安心ネットインストラクター」による、ネット社会の危険な現状や予防策等に関する保護者や地域の大人への啓発活動の実施	安心ネットインストラクター:68人[累計] 〈啓発活動〉 実施回数:26回(44回) 対象者数:1,137人(1,211人)
専門機関によるネットパトロールの実施	11,187	すべての県立学校を対象としたインターネット掲示板等における不適切な書き込み等の検索	検出件数:18,050件(21,005件) うち個人情報の流布:17,849件 (19,488件)

(2) 人権教育の推進

■ 児童生徒への指導の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校における人権教育の推進 (人権週間を中心とした取組)	—	各学校で人権週間(12月4日～10日)を中心とした期間に、人権問題に対する理解や認識を深めるための取組を実施	〈主な取組例〉 校長講話、講演会、DVDの視聴、人権問題を取り上げた教科等の授業、人権作文やポスターへの取組 等
学校における人権教育の推進 (家庭・地域との連携・協力)	—	各学校での人権教育の取組について、家庭や地域と連携して実施	〈主な取組例〉 学校の取組を地域や保護者に積極的に発信、家庭や地域から講師を招く 等
人権教育に関する教育方法の研究等	4,654	学校における人権教育の実践に関する研究委託及び補助	人権教育研究委託:7地区(7) 人権教育研究指定校:小2校(2) 人権教育総合推進地域:1地域(1) 人権教育研究委嘱校:中1校(1) 人権教育推進事業費補助1団体(1)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
人権教育に関する教職員の研修	—	各種研修での人権教育に関する講座の実施及び指導資料の作成配布	初任者研修等での人権教育に関する講座の実施
社会教育における人権教育	2,999	人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上を図るための社会教育関係者や PTA 関係者等への研修会の開催	〈中央研修会〉 開催地区:4 地区(4 地区) 参加者数:721 人(766 人) 〈地区研修会〉 開催会場:10 会場(10 会場) 参加者数:1,124 人(1,229 人)
■ 人権啓発の推進			
人権啓発の推進	41,748	「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」に基づく啓発行事や指導者研修会、新聞・交通広告等による啓発及び「あいち人権啓発プラザ」を拠点とした啓発業務の充実	〈人権ハートフルフェスティバル〉 開催日:平成 25 年 12 月 8 日(日) 開催地:名古屋市(ウイックあいち) 参加者数:357 人(173 人) テーマ:「見つめ直そう親子のきずな」 〈あいち人権啓発プラザ〉 利用者数:3,007 人(2,772 人)

(3) いじめ・不登校等への対応の充実

■ 未然防止と早期発見に向けた取組の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
絆を育む学校づくり推進事業 (再掲)	1,755	地域の異世代の人たちとの交流による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	実践指定校:幼 2 園(2 園)、小 6 校(6 校)、中 4 校(4 校) 実践例:地域での老人会との交流、祭りへの参加、福祉施設訪問、美化活動 等
県立学校アクティブチャレンジ事業 (再掲)	4,028	県立学校全体の活性化を目指した、各学校の意欲的な教育活動を支援	魅力ある授業づくり部門: 高 5 校(5 校) スポーツ・文化芸術部門: 高 6 校(6 校) 地域貢献部門:高 5 校(5 校) 特 2 校(2 校)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
不登校対策実践研究事業	7,200	県から派遣する生徒指導コーディネーターを活用した、不登校、暴力行為、いじめ等の生徒指導上の諸問題への効果的な取組に関する調査研究を委託	推進地域:2 地域(2 地域) [半田市、西尾市]([日進市、蒲郡市])
いじめ問題についてのメッセージ発出	—	いじめ問題に関する知事のメッセージの WEB ページへの掲載継続	Web ページアドレス： http://www.pref.aichi.jp/0000053040.html
■ 相談体制の充実			
スクールカウンセラー設置事業	601,591	問題行動の解決及び未然防止を図るためのスクールカウンセラーの学校への配置及び緊急事案への対応や経験の浅いスクールカウンセラーへの指導助言を行うためのスーパーバイザーの配置	〈スクールカウンセラー配置数〉 小:拠点校 181 校(173 校) 中:307 校(304 校)[全校配置] 高:拠点校 30 校(30 校) 〈スーパーバイザー〉 小・中担当:3 名(2 名) 高担当:2 名(1 名)
24 時間いじめ電話相談(いじめ ほっとライン 24)	8,350	臨床心理士や相談業務の経験があるボランティアによる、いじめ問題に悩む子どもや保護者への電話相談の実施	相談件数:11,051 件(10,989 件)
家庭教育コーディネーター設置事業	46,487	家庭教育コーディネーターによる不登校児童生徒や保護者への家庭訪問、相談・支援の実施及び乳幼児から中学生までの保護者を対象とする研修会の開催	コーディネーター設置人数:17 人(17 人) 〈家庭訪問、相談・支援〉 相談人数:131 人(167 人) 相談回数:3,311 回(3,855 回) 〈家庭教育研修会〉 実施回数:50 回(41 回) 参加者数:1,953 人(1,791 人)
ホームフレンド活動事業	774	家庭教育コーディネーターの助言の下、大学生のホームフレンドが不登校児童生徒に接することで児童生徒の心の安定を図る	ホームフレンド人数:16 人(16 人) 訪問人数:51 人(37 人) 訪問回数:547 回(402 回)
ひきこもり対策事業	16,886	ひきこもり状態に陥った者やその家族を相談や家族教室につながる活動やひきこもり支援サポーターによる家庭訪問の実施	相談件数:1,819 件 (1,768 件) サポーター派遣対象者: 延 77 人 (86 人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
子ども・若者 育成支援ネッ トワークの推 進	801	困難を抱える子ども・若者が円滑な社会生活を送れるよう、市町村において関係機関及び団体等が連携して支援を行うネットワークの整備促進	地域協議会サポート会議 1回 地域協議会等連絡会議 1回 子ども・若者支援ネットワーク 研修:4日(6日)、8講座(13講座)

(4) 幼児教育の充実

■ 幼稚園・保育所等と小学校との連携強化

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
幼・小・中学校教職員研修	—	幼稚園の新規採用教員への研修の実施及び幼・小・中学校の教職10年経験者研修における、異校種(園)訪問の実施	〈幼稚園等新規採用教員研修〉 参加者数:49人(50人) 〈教職10年経験者研修〉 参加者数:幼24人(20人) 小153人(143人) 中158人(127人)
絆を育む学校づくり推進事業 (再掲)	1,755	地域の異世代の人たちとの交流による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	実践指定校:幼2園(2園)、小6校(6校)、中4校(4校) 実践例:地域での老人会との交流、祭りへの参加、福祉施設訪問、美化活動等

■ 幼稚園・保育所等による子育て支援の充実

あいっこイキイキ子育て支援地域交流会の開催(再掲)	1,740	家庭や地域の教育力の向上を図るための子育て支援を考える地域交流会の開催	開催地:6地区(7地区) [北名古屋市、あま市、知多市、みよし市、田原市、豊根村] 参加者数:2,542人(2,622人)
認定こども園の整備支援	—	子どもを安心して育てることが出来る体制を整備するため、幼児教育と保育を一体的に提供する「認定こども園」の創設を支援	整備費補助:0か所(2か所) 認定状況:25園(19園)[累計]

■ 幼児期の教育の在り方の検討・策定

幼児教育の指針の策定・周知	—	平成24年度に策定した幼児教育指針の周知	・幼稚園等新規採用教員研修 ・教職10年経験者研修 ・幼稚園教育課程講座 ・園長等運営管理研修 ・保育技術講座 での周知
---------------	---	----------------------	--

(5) 福祉教育の推進			
■ 交流・ボランティア活動の推進			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
絆を育む学校 づくり推進事業 (再掲)	1,755	地域の異世代の人たちとの交流 による豊かな心の育成と、特色 ある学校づくりに取り組んでい けるよう、創意工夫ある取組の 実践を委託	実践指定校:幼2園(2園)、小6 校(6校)、中4校(4校) 実践例:地域での老人会との交 流、祭りへの参加、福祉施設 訪問、美化活動 等
県立学校アク ティブチャレ ンジ事業 (再掲)	4,028	県立学校全体の活性化を目指し た、各学校の意欲的な教育活動 を支援	魅力ある授業づくり部門: 高5校(5校) スポーツ・文化芸術部門: 高6校(6校) 地域貢献部門:高5校(5校) 特2校(2校)
高等学校と特 別支援学校高 等部の併設	—	ノーマライゼーションの理念を 実現するため、高等学校に特別 支援学校高等部を併設し、障害 のある生徒とない生徒の交流を 図る	併設校: 桃陵高等学校- 半田特別支援学校桃花校舎 宝陵高等学校- 豊川特別支援学校本宮校舎 田口高等学校の施設内に、豊橋 特別支援学校山嶺教室を設置す るための改修工事等を実施
肢体不自由児 スクールクラ スターモデル 事業	2,282	地域の教育資源を効果的に組み 合わせることにより、障害のあ る児童生徒一人ひとりのニーズ に適切に対応した教育を実施す るための研究の実施	指定学校:特3校(2校) 小4校(4校) ※特別支援学校は肢体不自由特 別支援学校を指定
■ 社会福祉に貢献できる人材の育成			
教科「福祉」 を通した地域 福祉を担う人 材の育成	—	高等学校福祉科、総合学科福祉 系列、普通科福祉実践コース設 置校での将来の地域福祉を担う 人材の育成	福祉科設置校:4校(4校) 総合学科福祉系列設置校:4校(4校) 普通科福祉実践コース設置校:2校(2校)
福祉教育充実 のための社会 福祉協議会の 活動支援	16,541	愛知県社会福祉協議会が行う福 祉実践教室や体験学習、福祉読 本の作成・配布等の活動を支援	福祉実践教室:1,014校(1,021校) 福祉読本:97,000冊(97,000冊)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
認知症サポーター養成講座の開催	—	認知症の人やその家族を家庭で支える社会の推進を図るための小・中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の開催	開催市町村: 30市町村(27市町村)

(6) 安全教育の推進

■ 実践的な安全教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
子どもの安全確保推進事業	761	防犯意識や危機回避能力の向上を図るための小学校への防犯少年団モデル校の委嘱及び防犯少年団員の任命並びに子ども安全アカデミーの開催	防犯少年団モデル校:45校(47校) 防犯少年団員:426人(474人) 子ども安全アカデミー: 平成25年8月27日(火)開催
自転車シミュレータを活用した参加体験型講座の実施	802	児童生徒に自転車の正しい交通ルールを学ばせるための参加体験型の講座の実施	実施校:小8校(1校)、中2校(0校)、高2校(1校)
自転車安全運転利用モデル校の指定	—	自転車安全運転利用モデル校の指定及び自転車教室の開催、交通危機マップの作成	モデル校:小44校、中44校、高44校(小44校、中44校、高44校)
防災教育推進事業(防災教育指導者研修会の開催)	29	教職員の危機管理意識の高揚、児童生徒に対する危険予測、危機回避能力の育成、小中高の連携を図るための研修会の実施	参加者数:1,356人(1,652人) 対象者:公立小・中学校及び県立学校、市町村教育委員会、市町村の防災担当者
防災教育推進事業(防災パンフレットの作成)	—	地震に関する正しい知識を習得させ、防災意識を高めるためのパンフレット利活用	小学校低学年用・高学年用、中学校用、高校用を作成、WEBページに掲載

■ 災害発生に備えた人材の育成

高校生防災リーダーの育成	86	防災に関する幅広い知識を持った人材や地域防災を主体的に進めることのできる人材を育成するための大学と連携したセミナーの実施	連携大学:名古屋大学 セミナー回数:5回(5回) 参加校数:30校(30校) 参加生徒数:122人(133人)
青少年防災キャンプ推進事業	2,100	学校や地域の社会教育施設等を避難所とした、体験型の防災教育プログラムの実践	実施地区:県内2地区(3地区)[大治町、田原市]

重点目標2 発達段階に応じたキャリア教育を充実します。

(1) キャリア教育の推進

■ キャリア教育の推進体制づくり

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
キャリア教育 会議の開催	67	有識者や経済団体、保護者の代表を交えて本県が進めるべきキャリア教育の在り方を検討	委員:14人(14人) 開催回数:年1回(1回) ※小中学校、高等学校、特別支援学校ごとに部会を設置
キャリア教育 ノートの活用 促進	—	平成23年度に作成したキャリア教育ノートを活用した、各学校でのキャリア教育の推進を小・中・高等学校及び市町村教育委員会に依頼	キャリア教育ノートの活用状況: 小 74.6%(78.2%) 中 73.9%(76.7%) (活用している又は活用予定の学校) 高 55.8%(22.3%) (活用している学校)
「あいち夢はぐくみサポーター」の活用	—	児童生徒のキャリア教育を支援する県内の事業所や団体を「あいち夢はぐくみサポーター」として認証・登録	登録件数:814件(349件)
キャリア教育 参画プランの 作成	—	企業がキャリア教育に参画する際の手引きとなる「産業界のキャリア教育参画プラン(仮称)」の作成	平成27年度までに作成予定
男女共同参画 の推進	211	男女共同参画に対する理解を促進するための作品募集や講演会等の普及啓発活動の実施	〈はがき1枚からの男女共同参画〉応募数:1,251件(621件)
■ 職場体験活動・インターンシップ等の推進			
「夢をはぐくむあいち・モノづくり体験」事業	3,235	モノづくりを直接体験することや達人の思いにふれることで、子どもたちが働くことや学ぶことの意義を考えるきっかけとする事業の実施	参加校:53校(53校) 参加者:4,197人(4,526人) [名古屋市を除く市町村各1校]
「あいち・出会いと体験の道場」推進事業	21,840	学校と地域が連携して中学校2年生を中心に5日間程度の職場体験等を実施	参加校:307校(304校) 参加者数:51,303人(51,954人) [名古屋市を除く全公立中学校]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
県立高校におけるインターンシップ等の推進	8,359	すべての全日制高校でのインターンシップ等の実施及び専門高校等での、プロフェッショナルの指導による講座の実施	〈インターンシップ等〉 実施校:全日制 146 校(146 校) 参加生徒数:10,899 人(9,982 人) 〈キャリアリンク講座〉 実施校:50 校(42 校) 時間数:264 時間(239 時間) 〈地域ものづくりスキルアップ講座〉 実施校:17 校(17 校)
あいち理数教育推進事業	3,481	高校生が大学の学びに触れることを通して、自らの視野を広げ、生涯を見通したキャリアプランニングについて考える機会を提供	メニュー: あいち科学技術教育推進協議会 知の探究講座 あいち科学の甲子園
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催	—	県内すべての 4 年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年 1 回(2 回)
「あいちの学校連携ネット」の運用	4,729	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての 49 大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成 24 年 3 月 アクセス数: 38,128 件(14,041 件)[累計]
あいちの大学「学び」フォーラムの開催	—	大学教員の専門的な講義を通して、生徒が進路選択について考えるきっかけづくりとする講座を開催	講座数:26 講座(21 講座) 参加生徒等数:452 人(598 人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
特別支援学校におけるキャリア教育の推進	2,299	小学部での学校近隣の商店や工場働く人を見学する「ふれあい発見推進事業」及び中学部の地域の職場の見学や簡単な作業などを体験する「チャレンジ体験推進事業」、高等部での長期間の現場実習や県立学校での就業体験を行う「就労支援推進事業」の実施	〈ふれあい発見推進事業〉 実施校数:22校(22校) 実施人数:241人(252人) 〈チャレンジ体験推進事業〉 実施校数:22校(22校) 実施人数 255人(242人) 〈就労支援推進事業[現場実習]〉 実施校:22校(23校) 実施人数 242人(277人) 〈就労支援推進事業[就業体験]〉 実施校:18校(18校) 実施人数 217人(240人)
県立の大学におけるキャリア教育の支援	—	学生が早い段階から将来への目的意識を明確に持ち、自己の将来設計を考えられるよう、就職や自立に向けたキャリア教育に積極的に取り組む	常勤のキャリアカウンセラーによる就職相談 各種セミナーの実施 就職支援システムの導入 キャリア支援科目の充実 インターンシップ機会の充実等
大学生1日職場体験支援モデル事業の実施	1,515	学生に中小企業へ目を向けてもらうきっかけづくりとして、中小企業における1日職場体験をモデル的に実施	実施企業:20企業(12企業) 参加学生:91名(55名)
■ 多様なニーズに対応した就業支援の充実			
若年者等の就職の促進	1,640,069	学校や市町村等との連携による若年者等への就職支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あいち若者職業支援センター おおむね45歳未満の若者を対象に就職相談、就職支援セミナー等を実施 ・若年者就職相談窓口 県内13市町と連携して就職相談窓口を設置 ・離転職者訓練 受講者:473人(574人) ・雇用セーフティネット対策訓練 受講者:5,229人(5,703人) ※平成24年度からの繰越者780人を除く

(2) 産業教育の充実			
■ 高等学校における産業教育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知総合工科 高等学校の設 置	1,385,844	本県の工業教育の中核となる高 等学校を設置準備 開校予定:平成28年4月 建設予定地:名古屋市千種区[元 県立東山工業高等学校]	造成工事 専門委員会開催:2回
産業教育設備 の整備	94,339	県立高等学校専門学科における 産業教育のための実験実習用設 備の整備	新規整備:16校(20校) 設備更新等:27校(23校)
職業教育技術 認定制度	777	一定条件以上の資格等を取得し た生徒への知事からの顕彰及び 県独自の検定試験の合格者への 合格証書の授与	知事顕彰者:8,171人(8,807人) 検定合格者:4,064人(3,909人)
「地域振興」 「観光」など の教育課程の 検討	—	産業構造の多様化に対応するた めの、県立高等学校での「地域 振興」や「観光」をテーマとし た教育課程を実施	観光ビジネスコース設置校:1校
■ 高等学校・高等技術専門校・企業の連携強化			
地域ものづく りスキルアッ プ講座	4,662	工業高校の教育課程に地域の企 業との連携プログラムを組み込 み、産業界のニーズを踏まえた 実践的な技能取得を目指す	実施校数:17校(17校) 参加生徒数:183人(187人)
モノづくり人 材育成	1,232	高等技術専門校における、県内 の工業高校生を対象とした、企 業の熟練指導者又は技能士によ る技能検定合格を目指した技能 実習の実施	参加生徒数:4校14人(6校27人) うち2級合格者:12人(13人)
■ 人材育成機能の強化			
高等技術専門 校におけるモ ノづくり人材 育成	163,441	高等技術専門校の訓練につい て、モノづくり関連分野を核と した訓練体系への移行を進める	名古屋高等技術専門校に建築総 合科を開設 受講者:6校608人(6校701人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
中小企業人材育成モデルの普及・活用	—	平成 23 年度に作成した中小企業人材育成モデルの普及啓発	関係機関への配布及びホームページへの掲載
■ 技術・技能を尊重する機運の醸成			
第 23 回全国産業教育フェア愛知大会の開催	28,632	産業教育に関する成果等の総合的な発表の場である全国産業教育フェアの開催	開催時期：平成 25 年 11 月 9 日 (土)～10 日(日) 参加者数：107,600 人
技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会の開催準備	23,284	平成 26 年に本県で開催する「技能五輪・アビリンピックあいち大会 2014」の準備	大会実施計画の策定、選手の育成強化、広報・啓発等

(3) 世界を舞台に活躍できる人づくり			
■ 外国語教育・国際理解教育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
英語の授業改善	184,346	外国語指導助手(ALT)等の配置及び拠点校を中心に地域全体の英語力の強化を図る「スーパーイングリッシュハブスクール」事業の実施	外国語指導助手配置： 38 人(40 人) 在県外国人語学講師配置： 14 人(15 人) ハブスクール：12 校
イングリッシュキャンプ in あいち	2,500	さまざまな国の人たちとオールイングリッシュの共同生活を送ることで、英語に対する自信と興味・関心を高めるとともに、異文化体験を通して相互理解の大切さを学ばせる	〈サマーキャンプ〉 開催時期：平成 25 年 8 月 24 日 (土)～28 日(水) 参加者数：58 人 〈ウィンターキャンプ〉 開催時期：平成 25 年 12 月 21 日 (土)～25 日(水) 参加者数：59 人
県立学校における国際交流活動の実施	—	県立高等学校、特別支援学校において、海外の姉妹・友好提携校との間で国際交流活動を実施	相互の学校訪問、夏季休業中の人的交流、インターネットを通じた交流、作品交流 等

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
高校生の留学 促進事業	15,000	高校生自らが企画提案した海外 短期留学等を実現するための費 用を助成する「高校生海外チャ レンジ促進事業」の実施及び原 則 1 年間外国の正規の後期中 等教育機関に通う生徒を対象と した留学支援金の給付	〈高校生海外チャレンジ促進事業〉 応募者：20 人 補助金支給者：20 人 〈留学支援金の給付〉 給付対象：17 人
国際理解コー スや国際コ ミュニケー ションコース 等での取組	—	海外の学校との交流活動や海外 語学研修などの英語によるコ ミュニケーションを高め、異文 化を理解するための取組の実施	国際教養科：3 校(3 校) 普通科国際理解コース：4 校(4 校) 普通科国際コミュニケーションコース： 2 校(2 校)
近隣アジア諸 国の言語教育 の推進	—	アジア諸国との交流の拡大を踏 まえた、中国語や韓国・朝鮮語 などを学習できる機会の拡大	〈講座開設学校数〉 中国語：8 校(12 校) 韓国・朝鮮語：4 校(5 校)
ふるさと遺産 サポート事業	3,457	住民や子どもたちが郷土の自然 や文化財を未来に守り伝える環 境を整えるための、保存団体に よる伝統文化出張講座の開催や 天然記念物である「木曾川堤(サ クラ)」の樹勢回復作業の実施	講座数：小 4 校(4 校) [実施校]- [実施団体] ・春日井市立篠原小- 小木田町源 氏天流関田棒の手保存会 ・清須市立西枇杷島小- 西枇杷島 町山車保存会 ・岡崎市立山中小- デンデンガッ サリ保存会 ・安城市立二本木小- 安城の三 河万歳保存会
県立学校アク ティブチャレ ンジ事業 (再掲)	4,028	県立学校全体の活性化を目指し た、各学校の意欲的な教育活動 を支援	魅力ある授業づくり部門： 高 5 校(5 校) スポーツ・文化芸術部門： 高 6 校(6 校) 地域貢献部門：高 5 校(5 校) 特 2 校(2 校)
ユネスコス クールの加盟 促進	14,750	ESD の推進拠点であるユネスコ スクールの加盟促進を図るため の活動事例集の作成・配付及び ユネスコスクールが地域と協働 して実施する ESD 活動への助成 並びに加盟申請書の英訳支援	〈ユネスコスクール加盟状況〉 加盟校：57 校(27 校)[累計] 加盟申請校：63 校(26 校) [平成 26 年 3 月末現在]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
英語教育に関する教員研修の充実	42	大学との連携による英語教育に関する教員研修の実施	小学校外国語活動講座: 1日(1日) 高等学校 10年経験者研修: 英語 2日(2日)
■ 表現力の育成			
ことばの学習 活性化推進事業	837	児童生徒に言葉の魅力や楽しさを味わわせ、言葉に対する興味・関心を高めるために、外部人材を活用した地域全体で取り組む言語活動に関する事業を実施	委託: 8市町(8市町) 外部人材活用数: 17名(23名) 取組例: アナウンサーや句会講師を招いた講習会 等
■ 世界で活躍できる知性や技術・技能の育成			
あいち理数教育推進事業 (再掲)	3,481	大学等と連携した高度な理数教育の実施及び成果の全校への普及	〈あいち科学技術教育推進協議会〉 参加校: 24校(24校) 〈知の探究講座〉 参加校: 56校 165人(54校 139人) 〈あいち科学の甲子園〉 チーム競技参加: 18校 26チーム (16校 20チーム) 個人競技参加: 14名(15名)
愛知総合工科 高等学校の設置 (再掲)	1,385,844	本県の工業教育の中核となる高等学校の設置準備 開校予定: 平成 28年 4月 建設予定地: 名古屋市千種区[元県立東山工業高等学校]	造成工事 専門委員会開催: 2回

重点目標3 学習意欲の向上を図り確かな学力を育成します。

(1) 個に応じたきめ細かな指導の充実

■ きめ細かな指導の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
少人数教育対応教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 報酬 2,260,811 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 報酬 1,955,280 の一部	きめ細かな指導を実施するための、小学校第1学年、第2学年及び中学校第1学年での少人数学級(35人編制)の継続実施及び少人数指導教員の継続配置	少人数学級実施校: 50市町村629校724学級増 (49市町村634校739学級) 少人数指導教員配置数: 小:専任教員645人(652人) 非常勤講師213人(211人) 中:専任教員713人(729人) 非常勤講師259人(259人)
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催 (再掲)	—	県内すべての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(2回)
大学と市町村との意見交換会の実施	—	学生ボランティアによる学習支援に関する大学と市町村教育委員会との情報交換会の開催	開催地:県内2会場[尾張、三河] 参加者:31大学37市町 (31大学34市町)
「あいちの学校連携ネット」の運用 (再掲)	4,729	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数: 38,128件(14,041件)[累計]
■ 全国学力・学習状況調査の活用			
全国学力・学習状況調査の活用	—	全国学力・学習状況調査の結果を指導の改善に生かすための「学力学習状況充実プラン」の作成・配布による市町村や学校への支援	〈学力・学習状況充実プラン〉 配布先:県内全公立小・中学校 配布方法:電子データによる配付及びWebによる配信

■ 学ぶ楽しさを味わわせる取組の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいち「授業づくり人材バンク」の運用による外部人材の活用	—	小・中学校の授業づくりに優れた外部人材を登録し、市町村での児童生徒の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に関する取組に活用してもらうための人材バンクの運用	〈あいち「授業づくり人材バンク」〉 運用開始:平成23年5月 登録数: 「教師への指導部門」57人(72人) 「児童生徒への指導部門」 達人45人(48人)、企業14社 (14社)、NPO法人4法人(4法人)
社会人特別非常勤講師配置事業	10,191	教員免許は持たないが、各分野において幅広い経験や優れた知識・技術をもつ地域の専門家や社会人を「特別非常勤講師」として活用	小学校: 155校、226人、2,382時間 (192校、238人、2,520時間) 中学校: 66校、73人、1,046時間 (72校、76人1,086時間)
ことばの学習活性化推進事業(再掲)	837	児童生徒に言葉の魅力や楽しさを味わわせ、言葉に対する興味・関心を高めるために、外部人材を活用した地域全体で取り組む言語活動に関する事業を実施	委託:8市町(8市町) 外部人材活用数:17名(23名) 取組例:アナウンサーや句会講師を招いた講習会 等
放課後子ども教室推進事業	261,707	教員志望の大学生や教員OB、地域のボランティアを学習アドバイザーとして、子どもに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室設置数: 33市町253教室 (32市町247教室)
■ 若い世代の教員の授業力の向上			
あいち「授業づくり人材バンク」の運用による外部人材の活用(再掲)	—	小・中学校の授業づくりに優れた外部人材を登録し、市町村での児童生徒の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に関する取組に活用してもらうための人材バンクの運用	〈あいち「授業づくり人材バンク」〉 運用開始:平成23年5月 登録数: 「教師への指導部門」57人(72人) 「児童生徒への指導部門」 達人45人(48人)、企業14社 (14社)、NPO法人4法人(4法人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
義務教育問題 研究協議会の 開催	236	校内研修・校外研修において、 若手教員の育成を図るための工 夫・改善について研究協議	委員： 協議会 17 名, 専門部会 13 名 開催回数: 協議会 2 回 (2 回) 専門部会 4 回 (4 回) 協議題: 若手教員の育成を図る 研修の在り方について

(2) 魅力ある県立学校づくり			
■ 生徒の多様なニーズへの対応の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
総合学科、普 通科コース制 の設置等	—	通学可能な範囲に総合学科がな い地域への設置及び時代のニー ズに応じたコースの新設・改編 の検討	総合学科 : 9 校 (9 校) 普通科コース制 : 23 校 26 コース (23 校 26 コース)
単位制による 複数部制の定 時制・通信制 高校の設置検 討	—	自分のペースに合わせて学ぶこ とができる、単位制による複数 部制 (昼間部・夜間部) の定時 制・通信制高校の設置に関する 検討	開校予定: 平成 29 年 4 月 開校予定地: 県立愛知工業高等 学校内
愛知総合工科 高等学校の設 置 (再掲)	1,385,844	本県の工業教育の中核となる高 等学校の設置準備 開校予定: 平成 28 年 4 月 建設予定地: 名古屋市千種区 [元 県立東山工業高等学校]	造成工事 専門委員会開催 : 2 回
■ 魅力と特色のある学校づくり			
県立学校アク ティブチャレ ンジ事業 (再掲)	4,028	県立学校全体の活性化を目指し た、各学校の意欲的な教育活動 を支援	魅力ある授業づくり部門: 高 5 校 (5 校) スポーツ・文化芸術部門: 高 6 校 (6 校) 地域貢献部門: 高 5 校 (5 校) 特 2 校 (2 校)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
地域ものづくりスキルアップ講座 (再掲)	4,662	大学や企業と連携した子どもたちの高度な知識・資格取得を目指す取り組み 〈技の探究講座Ⅱ〉 モノづくりの技術・技能に関する比較的難易度の高い資格の取得を目指す 〈クラフトマンⅡ〉 地域の産業界のニーズを踏まえた実践的な技術・技能の習得のための長期間の現場実習	〈技の探究講座Ⅱ〉 講座数:5 講座(6 講座) 参加者数:49 人(45 人) 〈クラフトマンⅡ〉 講座数:52 講座(54 講座) 参加者数:134 人(142 人)
高等学校と特別支援学校高等部の併設 (再掲)	—	ノーマライゼーションの理念を実現するため、高等学校に特別支援学校高等部を併設し、障害のある生徒とない生徒の交流を図る	併設校: 桃陵高等学校- 半田特別支援学校桃花校舎 宝陵高等学校- 豊川特別支援学校本宮校舎 田口高等学校の施設内に、豊橋特別支援学校山嶺教室を設置するための改修工事等を実施
■ 高大連携による学習意欲の向上			
あいち理数教育推進事業 (再掲)	3,481	大学等と連携した高度な理数教育の実施及び成果の全校への普及	〈あいち科学技術教育推進協議会〉 参加校:24 校(24 校) 〈知の探究講座〉 参加校:56 校 165 人(54 校 139 人) 〈あいち科学の甲子園〉 チーム競技参加:18 校 26 チーム (16 校 20 チーム) 個人競技参加:14 名(15 名)
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催 (再掲)	—	県内すべての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(2回)
大学と市町村との意見交換会の実施 (再掲)	—	学生ボランティアによる学習支援に関する大学と市町村教育委員会との情報交換会の開催	開催地:県内2会場[尾張、三河] 参加者:31 大学 37 市町 (31 大学 34 市町)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「あいちの学校連携ネット」の運用 (再掲)	4,729	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数: 38,128件(14,041件)[累計]
あいちの大学「学び」フォーラムの開催 (再掲)	—	大学教員の専門的な講義を通して、生徒が進路選択について考えるきっかけづくりとする講座を開催	講座数:26講座(21講座) 参加生徒等数:452人(598人)
■ 中高一貫教育の実施			
中高一貫教育の実施	563	6年間の計画的・継続的な、特色ある学習を進めることで、地域に根差した人材育成を図るため、北設楽地区と作手地区で連携型中高一貫教育を推進	実施校: 〈北設楽地区〉田口高校、設楽中学校、津具中学校、豊根中学校[平成16年度から] 〈作手地区〉新城東高校作手校舎、作手中学校[平成22年度から]

(3) 理数教育の推進			
■ 興味・関心、知的探究心を高める取組の推進			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
知の拠点あいち集客促進等事業	582	将来の科学技術を担う子どもたちにモノづくりの楽しさや科学の不思議を体験してもらうための科学教室の実施等	「こども科学教室」と「知の拠点あいちサイエンスフェスタ2014」を開催。
■ 高等学校の高度な理数教育の推進			
あいち理数教育推進事業 (あいち科学技術教育推進協議会)	14	各高等学校で行われている高大連携等による科学技術教育の優れた取組の情報交換、研究協議及び取組成果の発表会の開催	研究発表会[科学三昧 in あいち2013] 開催日:平成25年12月26日(木) 開催場所:岡崎市[岡崎コンファレンスセンター] 参加者数:669人(625人) [うち高校生453人(419人)]

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいち理数教育推進事業 (知の探究講座)	2,867	大学と連携し、高等学校で学べない先進的な理数教育を受ける機会を高校生に提供	講座数:6講座(6講座)[名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、愛知県立大学、豊橋技術科学大学] 参加者数:165人(139人)
あいち理数教育推進事業 (あいち科学の甲子園)	600	科学好きのすそ野を広げるために、数学、理科、情報、科学技術等の知識・技能を用いて、実生活に関連した課題等に取り組む機会を設けるとともに、「科学の甲子園全国大会」に参加する県代表チームを選考	〈トライアルステージ〉 開催日:平成25年10月26日(土) 参加チーム数:16校25チーム (18校26チーム) 〈グランプリステージ〉 開催日:平成26年1月25日(土) 〈科学の甲子園全国大会〉 開催日:平成26年3月21日(金) ～平成26年3月24日(月) 開催地:兵庫県 成果:県立一宮高校が全国第4位
■ 教員の資質向上			
理数系教員 (コア・サイエンス・ティーチャー)養成 拠点構築事業	—	愛知教育大学、名城大学と連携した、理科教育の指導に優れた小中学校教員(CST)の養成及び地域の理科教育の指導拠点の構築	〈CSTの養成〉 受講者:43名(62名) 修了者:22名(37名) 〈指導拠点の構築〉 拠点数:30校(30校)

(4) 読書活動の推進			
■ 読書に親しむ態度の育成			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
幼稚園における読み聞かせ体験の充実	—	読書活動の推進についての各市町村教育委員会への周知・啓発	絵本や紙芝居の読み聞かせ体験など、各市町村及び園の実情に応じた取組の実施
「みんなにすすめたい一冊の本」などの活用による読書活動の推進	—	読書活動の取組の手段の一つとして平成21年度に作成した「みんなにすすめたい一冊の本」の活用を周知・啓発	〈みんなにすすめたい一冊の本〉作成年度:平成21年度 内容:本県ゆかりの著名人50名の心に残った本等を紹介 Web ページ掲載

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
ことばの学習 活性化推進事業 (再掲)	837	児童生徒に言葉の魅力や楽しさを味わわせ、言葉に対する興味・関心を高めるために、外部人材を活用した地域全体で取り組む言語活動に関する事業を実施	委託:8市町(8市町) 外部人材活用数:17名(23名) 取組例:アナウンサーや句会講師を招いた講習会 等
「子ども読書の日」などの普及	—	子ども読書の日や文字・活字文化の日の周知・普及、子ども読書週間や読書週間において学校で読書の時間を設けたりするなど子どもの読書活動を推進	全校一斉読書の実施率: 小 98%(98.3%) 中 96%(95.7%) いずれも名古屋市除く
青少年によい本をすすめる 県民運動	321	優良図書の読書感想文の募集や県書店商業組合の協賛による学校への図書等の寄贈	強調月間:10月1日～10月31日 感想文応募点数: 19,751点(17,613点) 図書寄贈数:84校、約2,000冊 (67校、1,500冊)
司書教諭などによる学校図書館の活用促進	—	県立高等学校の司書教諭を対象とした研修会の実施	参加者:44名(55名)
読書活動推進計画の策定・推進	797	愛知県子ども読書活動推進計画(第三次)の策定	愛知県子ども読書活動推進計画(第三次)の策定(平成26年3月)
■ 図書館機能の向上			
学校図書館ボランティアとの協働による図書館機能の向上	—	家庭や地域、公共図書館などに、学校図書館ボランティアへの参加奨励及び学校図書館での活用促進	学校図書館でのボランティア活用状況: 小 92%(89.4%) 中 38%(35.4%)
県図書館のセンター館としての活動	356,837	県内の図書館への資料の貸し出しや、県内の図書館や学校への研修や相談による支援	市町村図書館等への資料貸出: 17,887冊・点(17,400冊・点)

(5) 情報教育の充実			
■ 情報活用能力の向上			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
児童生徒の ICT 利活用のための環境整備	217,151	第3期情報化推進計画に基づく児童生徒用パソコンの更新整備	更新台数: 高 2,015 台(1,373 台) 特 45 台(43 台) 配備台数: 高 9,246 台(8,659 台) 特 232 台(232 台)
安心ネットインストラクターの養成(再掲)	273	「安心ネットインストラクター」による、ネット社会の危険な現状や予防策等に関する保護者や地域の大人への啓発活動の実施	安心ネットインストラクター:68人[累計] (啓発活動) 実施回数:26回(44回) 対象者数:1,137人(1,211人)
専門機関によるネットパトロールの実施(再掲)	11,187	すべての県立学校を対象としたインターネット掲示板等における不適切な書き込み等の検索	検出件数:18,050件(21,005件) うち個人情報の流布:17,849件 (19,488件)
道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」での情報モラルに関する情報の発信(再掲)	—	情報モラル教育も含めた、道徳教育に関する学校の実践などを掲載し、家庭・地域・学校に発信するための Web サイトの運営	情報モラル教育実践掲載: 333件
■ わかりやすく理解が深まる授業への支援の充実			
授業における ICT 利活用のための環境整備	16,762	第3期情報化推進計画に基づく、電子黒板、プロジェクタ等の配備	電子黒板:高 484 台(484 台) 特 78 台(78 台) プロジェクタ:高 1,004 台(1,004 台) 特 72 台(72 台)
研修事業	72	教員の ICT 活用指導力の向上を図るための研修の実施	拠点職員巡回指導:21校(20校) 県立学校情報化推進研修: 178人(181人)

(6) 多文化共生社会の実現に向けた教育の推進			
■ 学校における外国人児童生徒への対応の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
日本語教育適応学級担当教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	日本語教育が必要な帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実を図るための日本語教育適応学級担当教員の配置	配置数:小 221 人(223 人) 中 102 人(100 人) 学級数:小 149 学級(148 学級) 中 60 学級(62 学級)
語学相談員の配置	22,117	ポルトガル語及びスペイン語の語学相談員を教育事務所に配置し、外国人児童生徒の在籍する小・中学校等へ派遣	配置数:ポルトガル語 5 人(5 人) スペイン語 2 人(2 人) 訪問指導:小 延 836 回(846 回) 中 延 319 回(307 回)
外国人生徒サポート事業	35,805	日本語によるコミュニケーション能力が十分でない外国人生徒の学習支援、教材や配付物の翻訳、通訳等を行うサポーターの配置	対象生徒数:204 人(171 人) サポーター配置:延 50 人(39 人)
教員等に対する外国人児童生徒教育講座の実施	33	外国人児童生徒教育を担当する小・中・高等学校、特別支援学校教員を対象とした研修の実施	対象教員数:57 人(57 人) 集合研修:2 日間(2 日間) ※事前に e-ラーニング研修
外国語堪能者、英語有資格者に対する特別選考	—	教員採用選考試験において、外国語が堪能である者や英語の資格を有する者に対する特別選考を実施	〈合格者数〉 外国語堪能者選考:8 人(9 人) 英語有資格者特別選考: 23 人(21 人)
住民基本台帳の活用などによる外国人児童生徒の就学の推進	—	文部科学省通知「外国人の子どもの就学機会の確保に当たっての留意事項について」の市町村への周知及び語学相談員の学校訪問時等の啓発	配置数:ポルトガル語 5 人(5 人) スペイン語 2 人(2 人) 訪問指導:小 延 836 回(846 回) 中 延 319 回(307 回)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
外国人児童生徒の進学支援等	—	県の語学相談員の進路相談や個人懇談会での通訳としての活用及び、高等学校入学者選抜における特別選考の実施、海外帰国生徒の高等学校編入学の随時受入れの実施など	〈外国人生徒及び中国帰国生徒等に係る入学者選抜〉 実施校:4校(4校) 志願者:32人(32人) 合格者:21人(16人)
児童生徒教育講座の開催	33	「外国人児童生徒教育講座」に大学教授を講師とした講義や研究協議を設け、専門的な知識を身に付ける機会を提供	対象教員数:57人(57人) 集合研修:2日間(2日間) ※事前にe-ラーニング研修
■ 地域における日本語学習等支援の充実			
「日本語学習支援基金」の活用による日本語教室などの支援	32,112	平成20年6月に創設した「日本語学習支援基金」を活用した、地域の日本語教室などの支援	〈外国人児童生徒の支援〉 助成団体数:49団体70教室 (51団体72教室) 〈外国人学校への支援〉 日本語指導者雇用助成: 8校(10校)
プレスクールの設置促進	77	プレスクールの設置促進に向けた説明会の開催	開催回数:1回(3回) プレスクール実施市町村: 13市町村(6市町村)
多文化ソーシャルワーカーによる在住外国人の支援	22,096	あいち国際プラザ多文化共生センターにおいて、多文化ソーシャルワーカーによる外国人県民からの相談への対応及び複雑な問題を抱える外国人に対する個別支援	相談・情報提供件数: 789件(1,338件) 個別支援件数:10件(13件)
■ 国際理解教育の充実			
県立学校における国際交流活動の実施(再掲)	—	県立高等学校、特別支援学校において、海外の姉妹・友好提携校との間で国際交流活動を実施	相互の学校訪問、夏季休業中の人的交流、インターネットを通じた交流、作品交流等
国際理解コースや国際コミュニケーションコース等での取り組み(再掲)	—	海外の学校との交流活動や海外語学研修などの取組の実施及び英語科の国際教養科への学科改編	国際教養科:3校(3校) 普通科国際理解コース:4校(4校) 普通科国際コミュニケーションコース: 2校(2校)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
近隣アジア諸国の言語教育の推進 (再掲)	—	アジア諸国との交流の拡大を踏まえた、中国語や韓国・朝鮮語などを学習できる機会の拡大	〈講座開設学校数〉 中国語：8校(12校) 韓国・朝鮮語：4校(5校)
ふるさと遺産サポート事業 (再掲)	3,457	住民や子どもたちが郷土の自然や文化財を未来に守り伝える環境を整えるための、保存団体による伝統文化出張講座の開催や天然記念物である「木曾川堤(サクラ)」の樹勢回復作業の実施	講座数:小4校(4校) [実施校]- [実施団体] ・春日井市立篠原小-小木田町源氏天流関田棒の手保存会 ・清須市立西枇杷島小-西枇杷島町山車保存会 ・岡崎市立山中小-デンデンガッサリ保存会 ・安城市立二本木小-安城の三河万歳保存会

(7) 特別支援教育の充実			
■ 特別支援教育体制の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
通級指導教室担当教員の配置	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する指導を行うための通級指導教室担当教員の配置	配置人数:小219人(201人) 中15人(15人)
障害種別特別支援学級の設置	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行うための、児童生徒の障害の種別に応じた特別支援学級の設置	〈設置学級数〉 総数:小1713学級(1,658学級) 中742学級(699学級)
特別支援教育指導員の配置	11,187	市町村への指導助言や小・中学校等への支援を行う特別支援教育相談員の教育事務所への配置	配置人数:5人(5人) 相談件数:1,143件(1,100件) 小・中学校等への指導助言: 334件(400件)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
特別支援教育 コーディネーターの配置	(特別支援学校費) 職員給与 26,393,688 の一部	地域における特別支援教育を推進する体制を整備する上で、中核的な役割を担うコーディネーターの特別支援学校への配置	配置校数: 30校(30校) ※特別支援学校に配置 巡回相談実施回数: 延 448回(448回) 巡回相談児童生徒数: 小 663人(728人) 中 228人(182人)
特別支援教育 体制推進事業	1,304	発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒に対する教育的支援を行うための各種研修や研究委嘱、早期教育相談の実施等の体制整備	〈各種研修〉 研修件数:7件(6件) 〈研究委嘱〉 委嘱先:2市(2市) 〈早期教育相談〉 件数:435件(439件) 〈就学相談支援事業〉 研修件数:2件 検討委員会:2件
県立特別支援 学校への看護師の配置	(特別支援学校費) 報酬 788,261 の一部	児童生徒に対する医療的ケアの実施や健康面・衛生面等の指導の補助等を行うための看護師の配置	看護師配置実績: 10校、32人
■ 知的障害特別支援学校の過大化の解消と整備構想等の検討			
知的障害特別 支援学校の過 大化の解消と 整備構想の検 討	2,040,371	県立知的障害特別支援学校の過大化に伴う問題の整理、今後の方向性の検討	尾張地区の新設特別支援学校 [いなざわ特別支援学校]建設工 事 豊橋市の市立特別支援学校設置 の協議 瀬戸市の市立特別支援学校設置 への県費補助
特別支援学校 課題調査研究 会議の開催	566	本県における特別支援教育の課題を総合的にとらえ、中長期的な視点に立った本県の特別支援教育推進の方策の検討と計画の策定	「愛知県特別支援教育推進計 画」の策定 策定時期:平成 26年 3月

■ 地域での自立に向けた支援			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
肢体不自由児 スクールクラ スターモデル 事業 (再掲)	2,282	地域の教育資源を効果的に組み 合わせるにより、障害のある 児童生徒一人ひとりのニーズ に適切に対応した教育を実施す るための研究の実施	指定学校:特3校(2校) 小4校(4校) ※特別支援学校は肢体不自由特 別支援学校を指定
特別支援学級 における地域 との連携した 取組	—	特別支援学級に在籍する児童生 徒の校外学習や職場体験学習に 地域住民の参加を促すなど、地 域との結びつきを深める取組の 推進	—
特別支援学校 におけるキャ リア教育の推 進 (再掲)	2,299	小学部での学校近隣の商店や工 場で働く人を見学する「ふれあ い発見推進事業」及び中学部で の地域の職場の見学や簡単な作 業などを体験する「チャレンジ 体験推進事業」、高等部での長 期間の現場実習や県立学校での 就業体験を行う「就労支援推進 事業」の実施	〈ふれあい発見推進事業〉 実施校数:22校(22校) 実施人数:241人(252人) 〈チャレンジ体験推進事業〉 実施校数:22校(22校) 実施人数 255人(242人) 〈就労支援推進事業[現場実習]〉 実施校:22校(23校) 実施人数 242人(277人) 〈就労支援推進事業[就業体験]〉 実施校:18校(18校) 実施人数 217人(240人)
障害者の雇用 促進	321,714	経済団体や法定雇用率未達成の 企業への雇用の働きかけ及び障 害者の職業訓練の実施	職業訓練受講者:527人(474人)
■ 早期からの特別支援教育の充実			
先天性代謝異 常等の検査の 実施	123,085	異常の早期発見・早期治療のた めの新生児へのスクリーニング 検査の実施	初回検査実人員: 43,930人(45,140人)
あいち発達障 害者支援セン ター事業	4,372	臨床心理士や保健師等による発 達障害のある人及びその家族か らの相談への対応や情報提供、 関係機関の職員研修等	相談件数:1,201件(1,582件)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
特別支援教育 体制推進事業 (再掲)	1,304	発達障害を含む障害のある幼 児・児童・生徒に対する教育的 支援を行うための各種研修や研 究委嘱、早期教育相談の実施等 の体制整備	〈各種研修〉 研修件数:7件(6件) 〈研究委嘱〉 委嘱先:2市(2市) 〈早期教育相談〉 件数:435件(439件) 〈就学相談支援事業〉 研修件数:2件 検討委員会:2件

重点目標 4 豊かな人生を送るための生涯学習を充実します。

(1) 生涯学習の振興

■ 生涯学習推進計画の策定

施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
生涯学習推進計画の推進	—	平成 24 年度に策定した生涯学習推進計画の着実な推進	大学と連携した社会教育担当者研修会の実施 実施日：平成 25 年 11 月 12 日、22 日、12 月 13 日、17 日、平成 26 年 1 月 16 日 参加者：延 139 人

■ 生涯にわたり学ぶ機会の充実

「学びネットあいち」学習コンテンツの充実	6,377	県、市町村、大学等の生涯学習関係機関が保有している学習案内情報や学習教材を提供する Web サイトの充実	アクセス件数：[累計] トップページ約 9 万件(約 11 万件) システム全体約 797 万件(約 750 万件) 情報提供機関：1,668 機関 (1,516 機関)
リカレント教育推進会議の開催	59	社会人のより高度化・専門化する学習ニーズに対応するための環境づくりに向けた関係者による推進会議の開催	〈講演会〉 開催日：平成 25 年 10 月 8 日(火) 参加者数：54 人(50 人) テーマ：「社会人の学び直しを促進する環境づくりのあり方」
生涯学習推進センター、社会教育施設の運営	207,811	生涯学習推進の中核的施設として学習情報や学習機会の提供、研修、交流などを実施する生涯学習推進センターの運営及び青少年をはじめとする県民の宿泊研修や野外活動の利用に供するための青年の家、美浜少年自然の家、旭高原少年自然の家の管理運営委託	〈青年の家〉 A:23,730 人(21,216 人) B:3,432 件(3,394 件) 〈美浜少年自然の家〉 A:48,882 人(47,320 人) B:2,967 件(2,671 件) 〈旭高原少年自然の家〉 A:52,640 人(54,049 人) B:2,105 件(2,122 件)
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>[主な実績欄の凡例] A:宿泊利用者数(延べ数) B:研修室等利用件数</p> </div>			
県図書館のセンター館としての活動(再掲)	356,837	県内の図書館への資料の貸し出しや、県内の図書館や学校への研修や相談による支援	市町村図書館等への資料貸出： 17,887 冊・点(17,400 冊・点)

■ 学んだ成果を生かす機会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
あいちシルバーカレッジの開講	3,404	高齢者に学習の場を提供し、高齢者の生きがいづくりを促進するための「あいちシルバーカレッジ」を委託して実施	対象:愛知県内在住の高齢者 会場:県内4か所(4か所) 定員:540人(540人) 応募数:1,821人(1,915人) 委託先:社会福祉協議会
子育てネットワークワーカースの養成・活用	542	家庭の子育てを支援するためにこれまでに養成した、「子育てネットワーク」の資質を向上するためのスキルアップ講座の開催・家庭教育研修会への派遣	会場:県内2か所(2か所) スキルアップ講座修了者:71人 ※家庭教育研修会講師登録者数:37人[平成26年3月時点] 家庭教育研修会:50回
総合型地域スポーツクラブの育成支援	2,161	誰もが、いつでも、どこでも、スポーツに取り組むことができる環境を整えるために、地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の創設と発展を支援	〈総合型地域スポーツクラブ育成状況〉 クラブ数:132(124) 育成している市町村数:52(50) 〔創設済:47(43) 創設準備段階:5(7)〕 未育成:2(4)
高校生防災リーダーの育成 (再掲)	86	防災に関する幅広い知識を持った人材や地域防災を主体的に進めることのできる人材を育成するための大学と連携したセミナーの実施	連携大学:名古屋大学 セミナー回数:5回(5回) 参加校数:30校(30校) 参加生徒数:122人(133人)
防災キャンプの実施 (再掲)	2,100	青少年の防災教育及び地域の絆づくり等を推進するために、体験型の防災プログラムを実践する防災キャンプの実施	実施市町村:2市町[大治町、田原市](3市) 参加者数:505人(803人)[2市町合計] 内 容:学校や社会教育施設等を避難所とした生活体験等 事例発表会参加者数:66人(92人)
学校支援地域本部事業	252	住民等が学習成果を生かしながら学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって子育てを行う体制づくりを行う市町村を支援	実施市町村:7市町(7市町) [瀬戸市、一宮市、小牧市、津島市、清須市、北名古屋市、大口町]

■ 時代のニーズに対応した学習機会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
消費者教育の 推進	392	効果的で実践的な消費者教育の導入に関する研究の実施、消費生活専門相談員による消費生活講座の開催、消費者教育推進シンポジウムの開催、消費者教育の指導者育成のための専門家の講師派遣	消費者教育研究校:3校(3校) 消費生活専門相談員による消費生活講座:36回(48回) 消費者教育シンポジウム:1回 [平成25年8月1日] 消費者教育推進支援事業:講師派遣19回
知的財産教育 の推進	398	知的財産について県民に普及するためのセミナー・講演会の開催	〈「あいち発明の日」記念講演会〉 開催日:平成25年7月26日(金) 会場:名古屋市[名古屋市中小企業振興会館展望ホール] 参加者数:186人(184人) 〈休日パテントセミナー〉 開催回数:3回(3回) 会場:刈谷市[刈谷市産業振興センター] 参加者数:138人(72人)
ユネスコスクールの加盟 促進 (再掲)	14,750	ESDの推進拠点であるユネスコスクールの加盟促進を図るための活動事例集の作成・配付及びユネスコスクールが地域と協働して実施するESD活動への助成並びに加盟申請書の英訳支援	〈ユネスコスクール加盟状況〉 加盟校:57校(27校)[累計] 加盟申請校:63校(26校) [平成26年3月末現在]

(2) 文化芸術の振興・伝統文化の保存・活用			
■ 芸術に触れ親しむ機会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
愛知芸術文化センターの運営	1,522,063	本県の芸術文化の振興及び普及を図る拠点となる愛知芸術文化センターの管理運営	〈愛知県美術館〉 入館者数:931,142人(795,538人) 展示室利用件数:157件(196件) 〈愛知県芸術劇場〉 利用者数:581,371人(609,180人) 利用件数:1,341件(1,240件) 〈愛知県文化情報センター〉 入館者数:489,133人(519,263人) 館外貸出冊数:21,915冊(45,366冊) ビデオ利用点数:4,261点(4,239点) 〈愛知県図書館〉 入館者数:614,901人(653,438人) 館外貸出冊数:533,859冊(537,355冊)
愛知県陶磁美術館の運営	267,675	陶芸文化の振興及び普及を図るための陶磁美術館の管理運営	入館者数:109,003人
県立2大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果を地域に還元するための講演会等の開催	ESD あいち・なごやパートナーシップ事業参加、学生の自主活動のスペース・ボランティアステーション設置 地域連携センター主催セミナー、各種演奏会、芸術講座
アートマネジメント人材の育成	498	芸術文化の「創り手」と「受け手」をつなぐ専門的な人材(アートマネージャー)の育成講座の開催	アートマネジメント講座受講者:8人(8人) インターンシップ受講者:18人
■ 学校における芸術教育の充実			
児童生徒ふれあい文化活動育成事業	3,060	高校生の文化・芸術活動の総合的な発表会である「アートフェスタ-愛知県高等学校総合文化祭-」を開催	参加校数:延93校(116校) 出演者数:1,003人(948人) 入場者数:延5,390人(5,361人)
県立高等学校への部活動(文化)専門指導員の配置	20,976	部活動(文化)の活性化を図るための外部指導者による部活動専門指導員の配置	配置数:68校74部(67校73部) 1部活動あたりの月平均配置時間数:11.8時間(11.0時間)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
教職経験者や 社会経験の豊 かな者等に対 する特別選考	—	教員採用選考試験において、音 楽や美術の分野に秀でた技能や 実績を有する者に対する特別選 考の実施	合格者数:12人(16人)
あいち「授業 づくり人材バ ンク」の運用 による外部人 材の活用 (再掲)	—	小・中学校の授業づくりに優れ た外部人材を登録し、市町村で の児童生徒の学習意欲の向上や 教師の授業力の向上に関する取 組に活用してもらうための人材 バンクの運用	〈あいち「授業づくり人材バンク」〉 運用開始:平成23年5月 登録数: 「教師への指導部門」57人(72人) 「児童生徒への指導部門」 達人45人(48人)、企業14社 (14社)、NPO法人4法人(4法人)
■ 伝統文化を尊重する心の育成			
ふるさと遺産 サポート事業 (再掲)	3,457	住民や子どもたちが郷土の自然 や文化財を未来に守り伝える環 境を整えるための、保存団体に よる伝統文化出張講座の開催や 天然記念物である「木曾川堤(サ クラ)」の樹勢回復作業の実施	講座数:小4校(4校) [実施校]-[実施団体] ・春日井市立篠原小-小木田町源 氏天流関田棒の手保存会 ・清須市立西枇杷島小-西枇杷島 町山車保存会 ・岡崎市立山中小-デンデンガッ サリ保存会 ・安城市立二本木小-安城の三 河万歳保存会
朝日遺跡発掘 調査の成果活 用	9,099	朝日遺跡の出土品の国の重要文 化財指定に伴う記念展の開催及 び重要文化財の一つである銅鐸 の保存・修理	〈記念展の開催〉 テーマ:朝日遺跡 よみがえる 弥生の技 期間:平成25年3月20日(水・ 祝)~平成25年5月19日(日) 入場者数:9,810人
名古屋市博物 館特別展開催 費負担金	4,000	過疎化・高齢化により後継者が 減少し、存続が危ぶまれている、 奥三河に伝わる「花祭」を県民 に紹介し、保護・継承するた めの特別展の開催	〈特別展の開催〉 テーマ:奥三河のくらしと花 祭・田楽 期間:平成25年11月2日(土) ~平成25年12月15日(日) 入場者数:8,462人

(3) スポーツの振興			
■ 学校体育の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
学校体育実技指導	12,271	体育担当教員及び運動部活動指導者の指導力向上のための研修会の実施や地域のスポーツ指導者の学校への配置	研修会等:6件(6件) 〈指導者派遣〉 武道等指導推進事業: 21人(17人) 運動部活動地域連携再構築事業:99部(75部)
県立高等学校への部活動(運動)専門指導員の配置	38,928	部活動(運動)の活性化を図るための外部指導者による部活動専門指導員の配置	配置数:103校141部 (105校139部) 1部活動あたりの月平均配置時間数:11.5時間(11.9時間)
■ スポーツに親しむことができる環境づくり			
スポーツ推進計画の推進	—	平成24年度に策定したスポーツ推進計画の着実な推進	スポーツを通じた地域コミュニティの活性化の促進 ・トップアスリート等によるスポーツイベントの開催:4講座 ・東海大学と連携したスポーツ教室の開催:8講座
愛知県版子どもの体力向上運動プログラムの普及	2,223	小学校高学年における体づくり運動の効果的な指導方法の確立	協力校:4校 指導者講習会の実施:2回 参加者数160名(395名) 小学校高学年向け運動プログラムの作成
総合型地域スポーツクラブの育成支援(再掲)	2,161	誰もが、いつでも、どこでも、スポーツに取り組むことができる環境を整えるために、地域住民が主体的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」の創設と発展を支援	〈総合型地域スポーツクラブ育成状況〉 クラブ数:132(124) 育成している市町村数:52(50) 〔創設済:47(43) 創設準備段階:5(7)〕 未育成:2(4)
体育・野外活動施設の管理運営	587,425	県民のスポーツ活動等の利用に供するための体育・野外活動施設の管理運営委託	愛知県体育館の利用件数: 168,882件(139,141件) その他の施設:スポーツ会館、武道館、野外教育センター、岡崎総合運動場、一宮総合運動場、口論義運動公園、総合射撃場

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
県立学校スポーツ開放運営事業	5,357	公共スポーツ施設が不足している中、学校教育活動に支障のない範囲で、県立学校体育施設を開放し、地域住民の要望に答えることで生涯スポーツの推進に寄与	〈開放実績〉 県立学校 176 校中 84 校 49.7% (176 校中 79 校 44.9%)
競技力向上対策事業	32,950	国体選手強化のための事業及びジュニア層の育成、強化、競技普及事業等に対する補助	補助先：公益財団法人愛知県体育協会
■ 国際的・全国的なスポーツ大会の開催			
国民体育大会への選手派遣	83,078	<p>第 68 回国民体育大会、第 69 回国民体育大会冬季大会への選手派遣</p> <p>〈第 68 回国民体育大会〉 派遣人数：661 人(681 人) 開催地：東京都 開催期間：平成 25 年 9 月 28 日(土)～平成 25 年 10 月 8 日(火) 成績：男女総合成績 4 位、女子総合成績 6 位</p>	<p>〈第 69 回国民体育大会冬季大会〉 派遣人数：107 人(110 人) 開催地： [スケート・アイスホッケー競技] 栃木県 [スキー競技] 山形県 開催期間： [スケート・アイスホッケー競技] 平成 26 年 1 月 28 日(火)～平成 26 年 2 月 2 日(日) [スキー競技] 平成 26 年 2 月 21 日(金)～平成 26 年 2 月 24 日(月) 成績：男女総合成績 10 位、女子総合成績 8 位</p>
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知の開催・支援	50,000	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会への参画・支援	<p>参加者数：31,520 人(30,452 人) 開催期間：平成 26 年 3 月 7 日(金)～平成 26 年 3 月 9 日(日) 内容：名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソン、マラソン EXPO</p>
		名古屋ウィメンズマラソンの参加者は昨年度を上回り、ギネス記録を更新	

(4) 健康教育の充実			
■ 心身の健康づくり			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主な内容	主な実績
養護教諭を中核とした保健指導の充実	83	<p>養護教諭の資質向上のための研修等の実施</p> <p>〈養護教諭スキルアップ研修会〉 対象：採用3年目の養護教諭 受講者：小中39人 県立14人</p> <p>〈期限付任用等養護教諭研修会〉 対象：期限付・臨時的任用の新規採用養護教諭及び2・3年目の養護教諭の希望者 受講者：小中60人(79人) 県立36人(41人)</p>	<p>〈養護教諭研究協議会〉 開催回数：小中4回(4回) 県立1回(1回) 受講者：小中1,099人(1,101人) 県立213人(200人)</p> <p>〈養護教諭実践力向上研修会〉 対象：採用2年目の養護教諭 受講者：小中40人(50人) 県立5人(14人)</p>
フッ化物洗口の推進	1,625	永久歯の虫歯予防として有効なフッ化物洗口が幼稚園、保育所、小学校等で実施されるよう支援	<p>実施施設数：966施設</p> <p>〈永久歯う蝕対策支援研修会〉 対象：養護教諭等 受講者：494人</p> <p>〈リーフレット作成配布〉 フッ化物利用啓発リーフレット：40,000部(37,000部) 6歳臼歯保護育成リーフレット：50,000部(48,000部)</p>
生活習慣病対策の推進	15,561	生活習慣病対策として、健康を増進し、発病を予防する一次予防対策を推進	<p>圏域健康づくり推進特別事業： 10保健所(新規)</p> <p>生活習慣病保健指導医研修事業 7回(7回)</p> <p>生活習慣病対策機能連携推進事業： 12地区(12地区)</p>
特定感染症対策事業	10,694	エイズ、性感染症等の特定感染症に関する知識の普及及び相談体制の充実	<p>〈エイズ予防強化週間ポスター募集〉 対象：県内の中・高校生 応募数：530件(555件)</p> <p>〈感染症予防指導者の育成〉 参加者：429人(379人)</p> <p>〈エイズ相談事業〉 愛知県エイズ情報センター及び相談窓口の設置</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
薬物乱用防止 対策事業	5,498	麻薬や覚醒剤などの薬物の乱用 防止に関する知識の普及及び相 談体制の充実	〈ダメ。ゼッタイ。普及運動〉 期間:平成25年6月20日(木)～ 平成25年7月19日(金) 〈麻薬・覚醒剤乱用防止運動〉 期間:平成25年10月～11月
からだと心の 健康教育推進 事業	217	児童生徒の心身の健康問題に対 応するための教員を対象とした 講座の開催	〈心の健康教育専門講座〉 開催日:平成25年7月31日(水) 平成25年8月5日(月) 参加者数:82人(126人) 〈からだの健康教育専門講座〉 開催日:平成25年7月23日(火) 平成25年7月25日(木) 参加者数:91人(123人)
子どもたちへ の手洗いの習 慣づけ	—	幼稚園児及び保育園児を対象と した食事前の手洗いの励行と正 しい方法の習得の普及啓発	「あわあわゴッシーの歌」の ホームページやリーフレットで の普及啓発
あいち健康の 森健康科学総 合センターの 運営	885,991	県民の健康の増進を図るための 健康科学総合センターの管理運 営	利用者:476,219人(459,187人) 健康づくりリーダーバンク登録 研修:1回[8日間40単位]

(5) 食育の推進			
■ 食に関する指導の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
栄養教諭の配 置拡大	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 〈特別支援学校費〉 職員給与 26,393,688 の一部	食に関する指導を充実し、児童 生徒に望ましい食習慣を身に付 けさせるための栄養教諭の配置 拡大	栄養教諭の配置: 小129人(107人) 中42人(41人) 特11人(9人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校における組織的・体系的な食育の推進	1,756	小中学校の食育を踏まえ、高校生における望ましい食習慣を身に付けさせるための食育啓発資料及び活用事例集の作成・配付	配布物:高校食育資料 配布部数:137,000部 食に関する指導の全体計画を作成した小・中学校:95%(95%)
学校食育推進のための研修事業	210	学校食育を推進する指導者の資質向上を図るための研修の実施	〈参加者数〉 学校食育推進者養成講座: 423人(433人) 学校食育推進研究協議会:185人
体験活動による食育	—	地域の生産者や食育推進ボランティア等と連携した体験活動の実施	活動例:農作業体験、餅つき体験、和菓子作り体験、稚魚の放流体験 等
小学生の農林漁業体験学習の推進	3,760	農林漁業者等による体験活動実施への助成	助成団体:3団体2市町
愛知を食べる学校給食の日	—	小・中学校、特別支援学校、定時制高校の学校給食に地元の産物や県内の産物を活用する「愛知を食べる学校給食の日」の実施	実施回数:年3回(年3回) 学校給食での地場産物の活用率:38.7%(38.8%) 残食率:小5.2%(5.3%) 中4.1%(4.4%)
■ 規則正しい食生活の啓発			
規則正しい食生活や生活リズムの重要性の啓発	771	食育劇を上演する学校への道具の貸与や演技指導、食育検定の実施、食育の推進活動を自主的に行うボランティアの登録・支援	食育劇:食まるファイブメタボ軍をやっつけろー 上演校数:小36校(30校) 特3校(4校) 中2校(0) 小中一貫1校(0) (幼1園) 食育検定受検者数: 6,589人(15,823人) 愛知県食育推進ボランティア登録者数:913人(764人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
親子で考える 朝ごはんキャン ペーンの実施	—	子どもたちが朝ごはんの大切さを考えたり、実際に調理する機会としてのコンテストの開催及び入賞献立や名古屋グランパスの選手の朝ごはんを紹介するリーフレットの作成	コンテスト:あいちの味覚たっぷり！我が家の愛で朝ごはんコンテスト 応募数:7,268点(5,816点) 朝食に野菜を食べる割合: 小学校5年生 65.3%(67.3%) 中学校2年生 53.7%(48.3%)
「早寝・早起 き・朝ごはん」 の啓発	—	新たに小学校に入学する児童の保護者への「早寝・早起き・朝ごはん」のリーフレット配布及び栄養教諭等による説明の実施	リーフレットのWeb配信

(6) 家庭教育の充実と子育て支援

■ 家庭教育や子育てについて学ぶ機会の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
家庭教育企画 委員会の開催	152	家庭教育事業全体の総合的な推進を図るための関係者による情報交換や意見交換の実施	〈家庭教育企画委員会〉 委員数:10人(10人) 開催回数:年3回(3回)
子育てネット ワーカーの養成 (再掲)	542	家庭の子育てを支援するためにこれまでに養成した、「子育てネットワーカー」の資質を向上するためのスキルアップ講座の開催	会場:県内2か所(2か所) スキルアップ講座修了者:71人 ※家庭教育研修会講師登録者数:37人[平成26年3月時点] 家庭教育研修会:50回
職場内家庭教 育講座の開設	132	職場において家庭教育講座などを開設する企業の支援	講師派遣:8回(15回) 参加者数:332人(857人) PR用パンフレット:2,000部(2,000部)
子育て支援 ポータルサイ トによる子育 て支援情報の 発信	12	子育て支援ポータルサイト「あいち はぐみんネット」での子育て支援情報の提供	子育て支援情報の例:県が実施する子育て支援の取組に関する情報、県内のNPO・子育てサークル・ボランティア等が実施する取組に関する情報 等
子育て情報・ 支援ネット ワークの構築	—	妊婦や子育て家庭が市町村の指定する施設に登録することにより情報提供や相談が受けられる「子育て情報・支援ネットワーク」の構築の促進	構築市町村数:15市町(15市町)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
父親育児参加の推進	—	妊娠・出産・育児において父親に望まれるサポートについての知識などを県内の新生児の父親に周知するためのスマートフォン用アプリの無料配信等	スマートフォンアプリ「子育てハンドブック～お父さんダイスキ～」の配信
あいっこイキイキ子育て支援地域交流会の開催 (再掲)	1,740	家庭や地域の教育力の向上を図るための子育て支援を考える地域交流会の開催	開催地:6 地区(7 地区) [北名古屋、あま市、知多市、みよし市、田原市、豊根村] 参加者数:2,542 人(2,622 人)
スクールカウンセラー設置事業 (再掲)	601,591	問題行動の解決及び未然防止を図るためのスクールカウンセラーの学校への配置及び緊急事案への対応や経験の浅いスクールカウンセラーへの指導助言を行うためのスーパーバイザーの配置	〈スクールカウンセラー配置数〉 小:拠点校 181 校(173 校) 中:307 校(304 校)[全校配置] 高:拠点校 30 校(30 校) 〈スーパーバイザー〉 小・中担当:3 名(2 名) 高担当:2 名(1 名)
■ 子育て支援の促進			
子育て応援の日(はぐみんデー)普及啓発事業	1,000	社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図るための「子育て応援の日(はぐみんデー)」の県民への周知	子育て応援の日(はぐみんデー):毎月 19 日 〈「子育て応援の日(はぐみんデー)普及推進強化月間スタート式」及び「啓発イベント」〉 開催日:平成 25 年 11 月 1 日(金) 開催場所:愛知県庁、アスカル金山 参加者数:125 人(125 人) 356 人(228 人) 〈育 19 キャンペーンの実施〉 開催日:平成 25 年 11 月 19 日(火) 〈はぐみんキャラバン隊の派遣〉 派遣回数:257 回(159 回)
ファミリー・フレンドリー企業の普及	1,734	仕事と生活の調和の取れた働き方ができる職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業の普及拡大	ファミリー・フレンドリー企業登録企業数:1,071 社(1,007 社)[累計] ワークライフバランス普及コンサルタント派遣:16 回

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
放課後子ども 教室推進事業 (再掲)	261,707	教員志望の大学生や教員 OB、地域のボランティアを学習アドバイザーとして、子どもに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室設置数: 33 市町 253 教室 (32 市町 247 教室)
保育所運営費 に対する支援	2,645,810 (保育所運営 費補助金始め 8事業の合計)	市町村が民間保育所で保育の実施を行った場合に要する経費の一部負担及び低年齢児や障害児の受け入れを促進するための事業及び休日における保育サービスの充実のための取組などを支援 特定保育事業費:10 市 24 施設 (10 市 22 施設) 休日保育事業費:17 市町 25 施設 (16 市町 23 施設)	民間保育所における保育実施人員:232,502 人 民間保育所運営費補助金: 15 市町 38 施設(15 市町 39 施設) 低年齢児途中入所円滑化事業 費:14 市町 56 施設(14 市町 54 施設) 1 歳児保育実施費:43 市町 5,077 人 (43 市町 4,915 人) 延長保育促進事業費:28 市町 119 施設 (26 市町 107 施設) 病児・病後児保育事業費:20 市町 23 施設 (20 市町 23 施設)
■ 児童虐待の防止			
児童虐待対策 事業	33,176	児童虐待に対応するための児童(・障害者)相談センターを中心とした体制整備及び地域におけるネットワークの構築、啓発事業及び里親支援事業の実施	要保護児童対策協議会:1 回(1 回) 関係機関連絡調整会議: 10 児相で開催 専門家の配置:児童虐待対応弁 護士、被虐待児家庭復帰支援 員、児童虐待対応法医学専門 医師、児童虐待対応精神科医 師、一時保護所心理職員

(7) 環境教育・環境学習の推進

■ 学校での環境教育の充実

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
環境学習副読 本の活用	2,242	小学校高学年を対象とした環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配付及び環境学習副読本の内容の見直し	作成部数:56,000 部(59,000 部) 配付対象:小学校 4 年生

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
ストップ温暖化教室	940	地球温暖化防止の大切さを学ばせ、エコライフを実践できる子どもの育成を目的とした「ストップ温暖化教室」の開催	〈小学校高学年向け教室〉 参加者:48校3,500人 (63校5,095人) 〈小学校中学年向け教室〉 参加者:42校2,836人 (67校5,221人)
総合学科、普通科コース制の設置等 (再掲)	—	生徒のさまざまな興味・関心に 応じた多様な学科、コース等を 県立学校に設置	総合学科:9校(9校) 普通科コース制:23校26コース (23校26コース)
緑のカーテンの普及	4,275	「あいち緑のカーテンコンテスト」の実施による緑のカーテンの普及	〈応募件数〉 住宅部門:19件(44件) 幼稚園・保育園部門:8件(15件) 学校部門:59件(60件) 事業所部門:24件(51件)
野生生物保護実績発表大会	213	野生生物保護活動の促進と保護思想の普及啓発のため、野生生物保護活動実践校等による野生生物保護発表大会の開催	開催日:平成25年8月6日(火) 参加数:8校130人
エネルギー教育推進事業費	10,000	エネルギーについての理解を深め、自ら考え、判断する力を身に付けるための実践研究	推進地区: 一宮市[小42校、中19校] 知立市[小7校、中3校] 実践校:高5校
■ 地域における環境学習の推進			
体験型環境学習講座の実施・あいち環境学習プラザの活用	13,647	体験型学習施設である「あいち環境学習プラザ」や「もりの学舎(まなびや)」での環境学習講座の実施	体験型環境学習講座実施回数: 32回(44回) もりの学舎来館者数: [年間]47,580人(39,018人) [累計]337,116人(289,536人) インタープリターと歩くもりのツアー参加者:41,649人(4,767人) あそび工房参加者:29,043人 (新規)
あいち海上の森保全活用事業	20,737	あいち海上の森センターにおける森林や里山、自然環境等に関する体験学習や里山保全等にかかわる人材育成等の推進	各種体験学習参加者:768人(1,140人) あいち海上の森大学修了者:27人(24人) 人と自然の共生国際フォーラム参加者:約600人(600人)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
環境学習ネットワークの構築・インターネットを利用した環境学習の機会の提供	66	県内の環境学習施設や市町村などの環境学習に携わっている団体とのネットワーク化を推進するための愛知県環境学習施設等連絡協議会の開催	開催日:平成 25 年 6 月 6 日(木) 出席団体:18 施設 開催日:平成 26 年 1 月 9 日(木) 出席団体:33 施設
生物多様性セミナーの開催	5,280	地域で活動する NPO 等と連携した、親子で自然とふれあい、楽しみながら生物多様性の大切さなどを学ぶセミナーの開催	開催回数:15 回(14 回) 参加者数:延 615 人(652 人)
持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議の開催準備	73,314	2014 年 11 月に開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」に向けた支援活動及び ESD の普及啓発 〈ESD ヤーキックオフイベント〉 開催日:平成 26 年 1 月 13 日(祝) 開催場所:名古屋市[ウインクあいち] 〈ESD 子どもフォーラム〉 参加者:小学校 5 年生~高校生 138 名(進行役含む) エクスカーション 開催日:平成 25 年 8 月 21 日(水)・22 日(木) グループディスカッション 開催日:平成 25 年 10 月 19 日(土)・12 月 22 日(日) 成果発表会 開催日:平成 25 年 12 月 23 日(祝)	ユネスコ総会(パリ)での PR 会議実施に向けた計画作成 関係機関との連絡調整 〈開催 1 年前イベント〉 [名古屋] 開催日:平成 25 年 9 月 14 日(土)・15 日(日) 開催場所:名古屋市[久屋大通公園] [尾張] 開催日:平成 25 年 11 月 23 日(土)・24 日(日) 開催場所: 一宮市[尾張一宮駅前ビル] [三河] 開催日:平成 25 年 11 月 30 日(土)・12 月 1 日(日) 開催場所:豊田市[豊田産業文化センター]
環境学習コーディネーターの活用	2,197	環境学習を受けたい方と提供できる方の橋渡しをし、学習内容等を調整するコーディネーターの設置	相談業務:35 件 コーディネーター業務:35 件

魅力ある教育環境づくり

(1) 幼児児童生徒の安全・安心の確保

■ 地域ぐるみによる安全・安心の確保

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校安全緊急 情報共有化広 域ネットワー クの充実	—	行政機関や学校、地域の団体などによる学校の安全を守る緊急情報共有化のネットワークシステムの充実	ネットワーク活用訓練の実施:5月 情報共有件数: 1,143件(1,146件) 訓練情報の学校への平均到達時間:40分(44分)
児童生徒見守 りネットワー クの運用	—	愛知県及び愛知県警察と連携し、タジ-会社やガソリンスタンド等の民間事業者とともに構築した「児童生徒見守りネットワーク」の運用	参加事業所数:18団体(18団体)
「パトネット あいち」によ る不審者情報 の提供	—	子どもや女性に対する声かけやつきまとい事案などの不審者情報を、希望する住民の携帯電話にメールで配信する「パトネットあいち」の運用	登録者数: 約90,000人(88,000人)
学校安全ボラ ンティア(ス クールガー ド)の配置	—	各小学校で活動する学校安全ボランティア(スクールガード)の核となる「スクールガード活動推進員」の指定及び「スクールガード活動手帳」の配布	スクールガード活動推進員指定 人数:860人(800人)
安全なまちづ くりの推進	64,559	住民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の活性化を図るための、自主防犯団体設立や運営の支援等	活動内容:各種防犯キャンペーン、四季の安全なまちづくり県民運動、安全なまちづくり活動推進員の配置、防犯ボランティア養成アカデミーの開催 防犯ボランティア養成アカデミー参加者:1,033人(959人)
放課後子ども 教室推進事業 (再掲)	261,707	教員志望の大学生や教員OB、地域のボランティアを学習アドバイザーとして、子どもに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する市町村の活動への支援	放課後子ども教室設置数: 33市町253教室 (32市町247教室)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
放課後児童健全育成事業	1,663,538	保護者が就労等により昼間家庭にいない、主に小学校低学年の児童の放課後や長期休暇時の適切な遊び及び生活の場を確保するための放課後児童クラブの運営及び設置に要する経費の補助(政令市及び中核市を除く)	放課後児童クラブ設置数:54 市町村 680 クラブ (50 市町村 657 クラブ) 利用児童数:28,039 人 (26,354 人)
通学路緊急合同点検の実施	3,000	小学校及び特別支援学校から報告のあった危険箇所について、学校、保護者、道路管理者、警察署と連携した緊急合同点検及び安全対策を実施	対策必要箇所:3,969 箇所 対策済み箇所: 3,473 箇所(2,398 箇所) 対策予定箇所: 496 箇所(1,226 箇所)
■ 学校における児童生徒の安全確保			
学校における防災計画の再点検等	—	実効性の高い防災教育や避難訓練の充実を図るため、各小・中・高等学校・特別支援学校へのマニュアル等の見直しの働きかけ	マニュアルの見直し実施率: 98.6%(98.4%)
県立学校施設の整備等	7,360,100	災害時における児童生徒の安全確保を図るための県立学校の耐震改修工事	耐震 B ランク建物の耐震改修工事: 80 棟(66 棟) 非構造部材の点検: 600 棟(558 棟) 県立学校の耐震化率: :86.8%(81.1%)
小・中学校施設の耐震化の推進	—	小中学校施設の耐震化が推進されるよう国や市町村に働きかけ	小中学校の耐震化率: 99.6%(約 99%)
学校における受動喫煙防止対策の推進	—	健康増進法に基づく、学校敷地内を全面禁煙とするなどの受動喫煙防止対策の実施	〈敷地内全面禁煙実施率〉 県立学校:100%[H16.4~] 市町村立学校:83.8%(83.5%)

(2) 教職員の確保・適正配置と資質の向上			
■ 教職員の適正配置			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
少人数教育対応教員の配置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 報酬 2,260,811 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 報酬 1,955,280 の一部	きめ細かな指導を実施するための、小学校第1学年、第2学年及び中学校第1学年での少人数学級(35人編制)の継続実施及び少人数指導教員の継続配置	少人数学級実施校: 50市町村629校724学級増 (49市町村634項739学級) 少人数指導教員配置数: 小:専任教員645人(652人) 非常勤講師213人(211人) 中:専任教員713人(729人) 非常勤講師259人(259人)
日本語教育適応学級担当教員の配置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	日本語教育が必要な帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実を図るための日本語教育適応学級担当教員の配置	配置数:小221人(223人) 中102人(100人) 学級数:小149学級(148学級) 中60学級(62学級)
通級指導教室担当教員の配置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する指導を行うための通級指導教室担当教員の配置	配置人数:小219人(201人) 中15人(15人)
障害種別特別支援学級の設置 (再掲)	〈小学校費〉 職員給与 177,659,743 〈中学校費〉 職員給与 95,749,398 の一部	一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行うための、児童生徒の障害の種別に応じた特別支援学級の設置	〈設置学級数〉 総数:小1,713学級(1,658学級) 中742学級(699学級)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
学校現場の負担軽減のための取組	—	教員が子どもと向き合う時間を確保するための、学校現場の負担軽減に関する働きかけ	見直し内容:会議、調査・報告、研修及び研究指定校の精選
県立学校における校務の情報化	129,953	教員用パソコンの継続配備及び実習教員への新規配備、学校の要望を踏まえた校務支援システムの改修	教員用パソコン配備台数 : 11,570 台(10,887 台)
■ 優れた人材の確保			
教職経験者や社会経験の豊かな者等に対する特別選考の実施	—	<p>教員としてふさわしい資質能力を備えた優れた人材を採用するための教員採用選考試験説明会の開催及び各種特別選考の実施</p> <p>〈特別選考等の合格者数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語堪能者選考:8 人(9 人) ・社会人特別選考:9 人(8 人) ・現職教諭特別選考:47 人(44 人) ・元教諭・講師経験者特別選考:161 人(150 人) ・英語有資格者特別選考:23 人(21 人) ・芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考:12 人(16 人) ・大学院進学による採用辞退者に対する特別選考:27 人(31 人) ・昨年度の補欠者に対する特別選考:68 人(17 人) ・障害者大学推薦特別選考:2 人(1 人) ・介護理由退職者特別選考:1 人(0) ・大学推薦特別選考:13 人(0) ・教職大学院修了見込者特別選考:9 人(0) 	<p>教員採用選考試験説明会実施会場 県内 3 か所(2 か所)[江南市、刈谷市、蒲郡市]</p> <p>県外 5 か所(5 か所)[神奈川県、大阪府、静岡県、広島県、福井県]</p>
学校組織の活性化	—	学校が保護者や地域住民の信頼を得ながら自主的・自律的に教育活動が行えるよう学校の組織運営を活性化する取組を実施	<p>主幹教諭の配置: 小中学校:50 人(50 人)</p> <p>愛知県教育委員会教員表彰: 101 人(101 人)</p>
県立学校教員人事異動公募制度	—	多様なカリキュラムに対応するための人材確保と学校の活性化を目的とした、総合学科、総合選択制及び専門学科設置校での教員公募制の実施	<p>公募実施校数:14 校(12 校)</p> <p>応募状況:7 人 7 校(7 人 5 校)</p>

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
教職員のメンタルヘルス対策	1,644	教職員のメンタルヘルス確保のための事業の実施	〈ストレスマネジメント研修会〉 対象者：一般教職員 184 人 開催回数：2 回
		〈管理職メンタルヘルス対策推進研修会〉 対象者：校長等 198 人 開催回数：1 回 〈管理職研修「メンタルヘルス基礎講座」〉 対象者： 部主事等 289 人(教頭等 352 人) 開催回数 5 回(6 回)	〈所属研修サポート事業〉 派遣校数：4 校(7 校) 〈メンタルヘルス相談〉 面談相談：18 件(23 件) 電話相談：8 件(36 件) 〈メンタルヘルス巡回相談〉 巡回回数：9 回(9 回) 〈メンタルヘルス支援の手引き〉 配付対象：各県立学校 2 冊(1 冊)
■ 教職員研修の充実			
大学との連携による教職員研修の研究	167	「愛知県総合教育センター・大学共同研究委員会」を開催し、教員のライフステージを見据えた資質向上のための研修や研究の在り方について協議	開催回数：年 3 回(3 回)
教職員研修の充実	5,297	教員の指導力向上と子どもと向き合う時間を確保するための研修事業の見直し	〈e-ラーニング研修の実施〉 e-ラーニング研修講座数：33 講座 受講者：4,033 人(3,018 人) 〈10 年目研修の見直し〉 研修日数 11 日→10 日 (幼稚園は 8 日→7 日)
義務教育問題研究協議会の開催(再掲)	236	校内研修・校外研修において、若手教員の育成を図るための工夫・改善について研究協議	委員： 協議会 17 名, 専門部会 13 名 開催回数：協議会 2 回(2 回) 専門部会 4 回(4 回) 協議題：若手教員の育成を図る研修の在り方について

(3) 開かれた学校づくり			
■ 地域に根ざした学校づくり			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
県立学校アク ティブチャレ ンジ事業 (再掲)	4,028	県立学校全体の活性化を目指した、各学校の意欲的な教育活動を支援	魅力ある授業づくり部門： 高 5 校(5 校) スポーツ・文化芸術部門： 高 6 校(6 校) 地域貢献部門：高 5 校(5 校) 特 2 校(2 校)
絆を育む学校 づくり推進事 業 (再掲)	1,755	地域の異世代の人たちとの交流による豊かな心の育成と、特色ある学校づくりに取り組んでいけるよう、創意工夫ある取組の実践を委託	実践指定校：幼 2 園(2 園)、小 6 校(6 校)、中 4 校(4 校) 実践例：地域での老人会との交流、祭りへの参加、福祉施設訪問、美化活動 等
学校支援地域 本部事業 (再掲)	252	住民等が学習成果を生かしながら学校を支援する活動を通じて、学校、家庭、地域が一体となって子育てを行う体制づくりを行う市町村を支援	実施市町村：7 市町(7 市町) [瀬戸市、一宮市、小牧市、津島市、清須市、北名古屋市、大口町]
■ 学校評価制度の活用			
小・中学校における学校評価の実施	—	学校評価ガイドラインに基づく自己評価や学校関係者評価並びに必要な場合の第三者評価の実施	自己評価実施率：小 100%(100%) 中 100%(100%) 学校関係者評価実施率： 小 96%(96%) 中 97%(97%) ※実績は平成 23 年度(23 年度以降調査なし)
県立学校における学校評議員制度の拡充・定着の支援	2,816	開かれた学校づくり及び信頼される学校づくりを進めるための学校評議員の設置及び学校評議員による学校評価の積極的な取り入れの促進	学校評議員設置状況： 高 149 校 538 人 特 27 校 123 人

(4) 県立の大学の振興			
■ 大学の研究力の強化			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
質の高い教育・研究の推進	—	質の高い教育・研究を推進するためのカリキュラム改正、教育内容・方法の充実・改善、研究体制の整備等	主な取組内容:(県立大学)教養教育センター設置、教養教育カリキュラムの検討、グローバル人材育成推進事業の実施
自主・自律的な大学運営の実現	—	自主・自律的な大学運営を実現するための取組の実施	主な取組内容:年度方針に基づく各部門重点施策の策定と運営、人事育成方針に基づく研修の実施、法人固有職員としての登用促進、教員評価制度の適切な運用 等
■ 地域に開かれた大学づくり			
県立大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果の地域への還元及び小中高等学校への学習支援、県民への生涯学習の推進等 〈あいちの大学『学び』フォーラムへの協力) 協力内容:会場提供及び講師派遣3名(1名)	〈学術講座の開催〉 回数:1回(2回) 参加者数:360人(536人) 〈公開講座の開催〉 回数:6回(9回) 参加者数:270人(481人) 〈地域学講座の開催〉 回数:2回(3回) 参加者数:76人(53人) 等
県立芸術大学における地域連携の強化	—	教育研究の成果の地域への還元及び小中高等学校への学習支援、県民への生涯学習の推進等	学内演奏会の開催:17回(16回) 芸術講座の開催:21回(19回) 1,538人(1,316人) 等
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催(再掲)	—	県内すべての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(2回)
「あいちの学校連携ネット」の運用(再掲)	4,729	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数: 38,128件(14,041件)[累計]

(5) 私立学校の振興			
■ 私立学校及び私立学校に通う生徒の保護者に対する助成			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
私立学校及び 私立学校に通 学する生徒の 保護者に対す る助成	65,265,944	私立学校設置者が教育を行うた めに要する経常的経費及び施設 設備の整備に要する経費に対す る補助及び私立学校に通学する 生徒の保護者への授業料や入学 納付金の一部軽減のための補助	各種補助金の交付
■ 公私の連携			
公私立高等学 校設置者会議 における公私 間の協議	—	高校生徒募集計画や中学3年生 の進路実現に向けた今後の課題 や取組に関する公私関係者間の 協議の実施	公私立高等学校設置者会議：平 成25年6月21日(金)、平成 25年10月10日(木) 公私連絡会：平成25年7月26日 (金)、10月2日(水) 実務者会議：8月、9月、12月

(6) 教育環境の整備			
■ 学校施設・設備の整備			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
愛知総合工科 高等学校の設 置 (再掲)	1,385,844	本県の工業教育の中核となる高 等学校の設置準備 開校予定：平成28年4月 建設予定地：名古屋市千種区[元 県立東山工業高等学校]	造成工事 専門委員会開催：2回
産業教育設備 の整備 (再掲)	94,339	県立高等学校専門学科における 産業教育のための実験実習用設 備の整備	新規整備：16校(20校) 設備更新等：27校(23校)
県立学校施設 の整備等(再 掲)	7,360,100	災害時における児童生徒の安全 確保を図るための県立学校の耐 震改修工事	耐震Bランク建物の耐震改修工事： 80棟(66棟) 非構造部材の点検： 600棟(558棟) 県立学校の耐震化率 ：86.8%(81.1%)
小・中学校施 設の耐震化の 推進(再掲)	—	小中学校施設の耐震化が推進さ れるよう国や市町村に働きかけ	小中学校の耐震化率： 99.6%(約99%)

施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
県立学校の冷房設備整備の検討	135	県立学校の普通教室への冷房設備の整備に関する導入方法等を引き続き検討	他府県の状況を確認しながら検討を実施
知的障害特別支援学校の過大化の解消と整備構想の検討 (再掲)	2,040,371	県立知的障害特別支援学校の過大化に伴う問題の整理、今後の方向性の検討	尾張地区の新設特別支援学校[いなざわ特別支援学校]建設工事 豊橋市の市立特別支援学校設置の協議 瀬戸市の市立特別支援学校設置への県費補助
■ 就学援助			
高等学校等奨学金貸付金の貸与	1,139,100	経済的に修学が困難な生徒が安心して学べるよう、学力要件のない無利息の奨学金の貸与	貸与人数: 国公立学校1,090人(1,163人) 私立学校2,237人(2,318人)
特別支援学校就学奨励費の支給	516,441	特別支援学校に在籍する幼児・児童・生徒の保護者を対象とした就学に要する経費の一部補助	支給対象経費:学校給食費、交通費、学用品購入費等 支給対象者:6,261人(6,248人)
■ へき地教育の振興			
へき地教育振興費補助金	1,408	へき地における小・中学校の教育活動の充実を図るための市町村の事業への補助	「へき地 学びの絆づくり」事業費補助金:7市町村(7市町村) 過疎地域スクールバス運営費補助金:3市町(3市町)
■ 校務の情報化			
県立学校における校務の情報化	129,953	教員用パソコンの継続配備及び実習教員への新規配備、学校の要望を踏まえた校務支援システムの改修	教員用パソコン配備台数: 11,570台(10,887台)

(7) 教育行政の推進			
■ 教育委員会の充実			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
教育委員会の充実	—	保護者や地域住民の期待に応える質の高い教育を実現し、合議制機関としての機能をさらに充実するための取組の実施	教育委員会会議での審議等件数:議案数 26 件(23 件)、協議題数 17 件(16 件)、報告数 52 件(63 件) 教育委員協議会での協議件数:協議題 9 件(15 件)
■ 広報広聴活動の充実			
保護者向け広報紙「パレット」の発行	2,101	公立の小・中・高等学校及び特別支援学校の保護者に教育施策等を紹介する「パレット～あいち発教育通信～」の発行	発行回数:年 1 回[6 月] 発行部数:636,460 部
インターネット広聴「ご意見箱」の設置	—	県民の意見・苦言や苦情・要望、質問・照会等をメールで受け付ける「ご意見箱」の設置	利用状況:353 件
■ 市町村教育委員会との連携と支援			
権限移譲プロジェクトチームにおける市町村との意見交換	—	プロジェクトチーム構成員に対する市町村への研修権や人事権の移譲に関する意見照会の実施	意見照会:平成 26 年 3 月 構成員:県教育委員会、市町村教育員会[豊橋市、豊川市、江南市、蟹江町、幸田町]
県から市町村への権限移譲の推進	—	希望する市町村への市町村立専修学校、各種学校に係る設置廃止認可の権限の移譲	移譲先:豊田市、東郷町、南知多町、武豊町
指導主事の派遣	671,563	希望する市町村への指導主事の派遣 市町村派遣指導主事制度の見直し	市町村派遣指導主事: 50 市町村 87 人(50 市町村 88 人) 派遣指導主事在り方検討会議: 3 回
県費負担教職員事務の移管等に関する名古屋市の意見交換	—	国に対する県・市共同要望や権限移譲に関する最近の動向、名古屋市立学校教職員の給与負担の移管等に関する意見交換の実施	政令市への給与負担及び財源の移管について合意

■ 大学やNPO、産業労働団体等との連携強化			
施策の展開	当初予算額 (千円)	主 な 内 容	主 な 実 績
「大学と県教育委員会との連携推進会議」の開催 (再掲)	—	県内すべての4年制大学や私立高校関係者、県教育委員会が相互の連携に向けた意見交換を行う会議の開催	開催:年1回(2回)
「あいちの学校連携ネット」の運用 (再掲)	4,729	大学が行う高校生向けの講座情報など、県内すべての49大学と高等学校・特別支援学校・市町村教育委員会とをつなげる情報の掲載	開設:平成24年3月 アクセス数: 38,128件(14,041件)[累計]
あいち理数教育推進事業 (知の探究講座) (再掲)	2,867	大学と連携し、高等学校で学べない先進的な理数教育を受ける機会を高校生に提供	講座数:6講座(6講座)[名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、豊田工業大学、愛知県立大学、豊橋技術科学大学] 参加者数:165人(139人)
大学と連携した外国人児童生徒教育講座の開催 (再掲)	—	「外国人児童生徒教育講座」に大学教授を講師とした講義や研究協議を設け、専門的な知識を身に付ける機会を提供	対象教員数:60人(57人) 集合研修:2日間(2日間) ※事前にe-ラーニング研修
大学との連携による教職員研修の研究 (再掲)	167	「愛知県総合教育センター・大学共同研究委員会」を開催し、教員のライフステージを見据えた資質向上のための研修や研究の在り方について協議	開催回数:年3回(3回)

